

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	令和3年度第3回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	令和3年11月24日（水）午後1時30分 ～ 午後3時00分
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：高橋 毅、椎木 俊秀、倉下 美和子、陰山 行弘、柳 清美、須永 美智子、千田 祐子、押田 友紀子、佐藤 達也、奥下 洋平、小尾 裕美、泉澤 あい子、富田 眞貴子、加藤 恭子、（計14名） 欠席者：高山 仲司、鈴木 正悦、岩瀬 香世、平田 将太郎、佐々木 久子、溝口 睦子（計6名） 事務局：栗原課長、柏崎係長、比留間主事、村山主事、
議 題	1 委嘱書交付 2 報告事項 （1）令和3年度第2回武蔵村山市自立支援協議会の会議録内容結果について （2）各専門部会からの報告について 3 議題 （1）子ども支援部会の要望事項について （2）くらし安全部会の要望事項について （3）その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題（1）については、自立支援協議会を通して市に要望する。 議題（2）については、自立支援協議会を通して市に要望する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめ。） ●会長 ○委員 ■事務局	2 報告事項 （1）令和3年度第2回武蔵村山市自立支援協議会の会議録内容結果について ●事務局より説明をお願いする。 ■（事前配布資料及び当日配布資料の確認） ■事前に会議録を配布させていただいている。現時点では修正等の意見はないが、前回の報告事項で1点、就労支援センターより介護保険施設等感染防止対策推進事業等の申請（以下PCR検査）の対象にならないかという相談があった。本事業については東京都の補助要綱を活用しているため、対象とはならない旨回答させていただいている。 ●何か質問、意見等はあるか。 ●PCR検査について、就労支援センターや計画相談支援事業所は対象にならないが、対象事業所の職員よりも外部との接触が多い。制度と

してもう少し対応できないものか。

■要望として承る。

○今の話であるが、高齢者の施設では、東京都や武蔵村山市だけでなく日本財団が行ってくれるが、障害者の施設はないのか。

■なかったと思うが確認をする。東京都が行っている事業と日本財団が行っている事業で対象にならない部分を市区町村で行っている。

○長期入所の施設で感染拡大の予防ができたということもあるため、引き続き継続してもらいたいということと、通所の施設も大変な状況にあるため、是非ともお願いしたい。それと、厚生労働省から積極的に初期症状感染者を含めたPCR検査をするべきといった通達が出ている。北海道では第6波のような報道も出ており、外国では非常に増えているため、今の少ない段階でしっかり行って感染拡大を予防することで、以前のように再拡大してから慌てふためくではなくて、早期対応ということで東京都にも要望していただきたい。

■現在、東京都より12月まで対象期間を延長する通知は来ているため本市も通知に倣っているが、動向として3月頃まで行う見込みで準備している。ただ、これは未定で東京都より正式な通知が来ていないため、現状は12月までと報告させていただく。

●他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(2) 各専門部会からの報告について

(くらし安全部会から報告)

○各専門部会議事録の1頁から6頁を御覧いただきたい。第1回目、第2回目は書面により開催した。第3回目については集会室で開催することができた。くらし安全部会では構成員が3名変更になった。また11月5日に市民総合センターで、午後2時から午後3時まで避難訓練があり、そこで以前部会で作成したヘルプバンドナを使用することや火災報知器に連動した聴覚障害者用の周知ランプを使用することができるかといった意見等が出た。

●何か質問、意見等はあるか。

●各専門部会議事録の2頁の活動方針で、今年度も引き続き障害者の防災に関することや消防機関からの聞き取り等の防災関係を行っていくとあり、活動内容に講師派遣とあるが、具体的に何か進んでいる状況があるのか。

○まだ特に決まっていない。10月20日に行われた第3回で、11月に行われる避難訓練に参加をして、どんな状況か把握するという話が出たが、他は出ていない状態である。

●コロナ禍でもあるため、状況を見ながら、進められるようになったら進めていただきたい。

●他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(就労支援部会から報告)

○就労支援部会は、早くからZ o o mを使用して、今年3回会議を開催している。1、2回目で今年度の活動について話し合い、1点目は事業所の職員向けの研修を行うことになった。もう1点で利用者を対象とした研修を行いたいという意見が出たが、コロナ禍での集会式の研修は難しいとの意見が多数出たため、事業所の職員向けの研修をもう一回行うことになり、事業所の職員向けの講演会と研修会を行うことに決定した。講演会については、社会福祉法人東京リハビリ協会の緑川理事長に声を掛けさせていただき、「B型作業所の運営について」という題名で開催した。この講演会は11月19日にオンラインで開催し、忙しいながらも理事長のお時間をいただいて貴重なお話を伺うことができた。この講演会の方法としては、まず資料を東京リハビリ協会から提供いただき、それをZ o o mで参加予定者に3回程配信して観てもらい、具体的にどういった事業所かを理解したうえで講演会に参加してもらいお話を伺った。予め質問事項も提出いただいていたため、有意義で内容の濃い講演会ができたと思う。19日の反省会も含めて、12月の頭に4回目の会議を開く予定になっている。それでもう1つの事業所職員向けの研修については、折角、就労支援部会にハローワークの方とサンシャインホームの方がご参加いただいているので、サンシャインホームの方からは、障害者雇用の事例を何点か発表していただく予定で、ハローワークの方からは、利用者の就労準備性についていくつかまとめていただき、発表していただくかと思っている。そういった方法で年明けに事業所職員向けに障害者の就労準備性についてと、事例についての研修会を開催しようと考えている。

●何か質問、意見等はあるか。

●11月19日のZ o o mでの講演会は、最終的には何人位集まったのか。

○20人弱位である。

●他に質問、意見等はあるか。

○この研修は就労に関する事業所の職員のみになるか。児童対象の事業所の職員も参加は可能か。

○今年度に関しては、コロナ禍の影響もあるため、就労支援部会に参加している事業所の職員を対象にしている。もし、参加希望があれば、来年度等に計画を立てて、他の事業所の職員にも対象を広げて検討したいと思う。

●児童の施設でも、小、中、高校生と将来の進路という大きな課題とし

であると思うので、児童の施設でも就労支援B型の研修に参加できた方がよいのかと考える。

- 他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(地域相談支援部会から報告)

- 事前配布資料の各専門部会議事録の11頁から、第3回、第4回に関して掲載しており、書面開催となっている。本日配布された追加資料の各専門部会議事録の1頁から、第5回に関して掲載しており、10月に開催している。今回資料は無いが、第6回を11月に開催している。第5回からは事業所が1ヶ所増えて、特定指定相談支援事業所が8事業所になっている。地域相談支援部会では、各事業所が担当して事例報告をしていることと、各事業所からの近況報告をしている。第5回の実例報告では、介護サービスと障害サービスの併用利用について、介護保険利用者が障害福祉サービスを利用することで、色々と問題があるということをお話し合った。また、地域相談支援部会では、現在まだ検討中ではあるが、活動方針の作成をしている。

- 何か質問、意見等はあるか。

- 内容を拝見すると、事例検討で困難事例を抱えながら情報交換しているのが読み取れる。また、計画相談は障害福祉サービスを受けていくために必要な部分であるため、積極的な活動を期待したい。

- 他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(子ども支援部会から報告)

- 当日配布分の各専門部会議事録の5頁、まず子ども支援部会の議事録を見ていただきたい。そこで第3回を行っている。私たちとしては、子育て、発達障害が気になる方、子どもの支援についてのシステム作りを中心に考えて、今年度は取っ掛かりとなる相談に関して取り組んでいる。当市で最初に相談できる機関の一覧を作ることを最大の目標にしている。資料2と資料3をホームページに掲載することを、この後お願いしたいと考えている。最初の一番アクセスしてもらえそうな所に、資料2の「発達に気になるお子さんの困りごとと相談機関」というような概要を掲載して、そこでどんな相談がしたいのか、或いは相談がしたい時にこういうところに相談すればいいのかを見ていただく。市の機関、後は医療機関や学校、家族会があって、場面に応じて参考にしてもらおう。それで具体的にどこに相談したらいいのかを資料3のエクセル表を見ていただき、武蔵村山市で相談できる機関に繋げることを目指している。市の機関とすり合わせて作ったものなのであるが、もし、一覧の中に抜けているものがあれば、是非とも言っていただきたい。事業の説明、対象年齢、申込み方法、連絡先、それと、それぞれの機関でホームページを持っていることが多いので、詳細はそちらで見ていただく方式にしている。そこで皆様をお願いしたいことがある。御意見があったら寄せていただき、来年の2月にある今年

度最終の部会で決定していきたいと思っている。資料2の「発達が気になるお子さんの困りごとと相談機関」の2頁に、同じ悩みを抱えている人、経験者と話しがしたいという時に、子ども支援部会に参加している家族会の委員の方は掲載しているが、他にも障害者関係の委員の方が、この場に4名いらっしゃるの、その団体や家族会も入れていいのかなど。最初に相談を受けていただけるのかも伺って、大丈夫ということであれば、ここに入れさせていただきたいと思っている。それで実際に使いながら、改善改良を図って、便利なものにしていきたいと考えているので、御意見をよろしくお願いたしたい。後、こういう相談をしていくうえで、マイファイルというのを武蔵村山市で作られているが、これは一部活用されているが、まだ十分に活用されていないところもあるので、色々な事業所や関係機関がこれを使えるようにリンクを貼って、推薦いただいてこれも使えるように考えている。

- 何か質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

3 議題

(1) 子ども支援部会の要望事項について

- 子ども支援部会より説明をお願いします。

(子ども支援部会から説明)

○一つ目は、資料3のエクセルの表だが、これは特別子どもだけではなく、全住民の方を対象としている。どんな方でもまず相談したい時はこの一覧のどこかに連絡すれば相談できて、そこで該当しなくても、そこから別の場所を紹介してもらえるものにした。管理は市の方をお願いしたい。どこの部署で管理するかは市で検討いただきたいと考えている。もう一つ目は、この表にアクセスするために、市のホームページ上に掲載していただきたい。掲載場所としては、資料4にある「子育て情報」にある「相談（子育て）」の四角で囲んだ部分にリンクが貼られるようにしていただきたい。文言はまだ修正が必要だが、今はそういう形で検討しているので、御意見をいただければと思う。

- 子ども支援部会から相談の体制作りについて、自立支援協議会を通して市に要望を出していく内容になるが、何か質問、意見等はあるか。

- 今までは発達障害や相談事について、市内では組織立った体制が無いという背景があるのか。

○まとまったものが無く、どこに相談したらいいのかというのが、入所の方や家族の方の困り事だったので、その部分において見易くすることが一番の大きな理由である。

○家族会の方からも少し説明してもらった方がよいのではないかと。

○学齢期であれば教育相談室や学校になると思うが、たらい回しになってしまうことが多いという意見があり、一体どこに行けばよいのかと

いう方も実際にいる。私は家族会の代表をやっているが、ここにも経験者がいるので、是非意見を聞いていただきたいが、なかなか繋がらなくて行きにくいということがある。「取り敢えず来てください。」、「繋がってください。」というのを伝えたいと感じている。

○それは私たち支援する側も同じで、自分たち以外の相談機関、市役所の部署、他の支援するための事業所や機関があることを、私たち自身が知らない。だから紹介するにも紹介しようがないことがあるので、こういう資料が一つあれば他の機関も紹介し易いという目的もある。

○エクセルの表の裏側の民間施設の中の一つに、お伊勢の森が入っており、精神障害者の相談とあって年齢制限なしとあるが、18歳以上を対象としている。学齢期の方というよりは、学齢期の先の成人した後の相談ということで、発達障害の方の相談もある。また、相談でなくても、地域活動支援センターとして利用している方の中に、発達障害の方がいる。こちらもなかなか何か働きかけができていない状況なので、合う合わないはあると思うが、市内の資源の一つとして考えていただければと思う。

○年齢は18歳以上に訂正でいいのか。

○そうである。

○一覧表に含めて欲しいという訳ではないが、資料2の「発達が気になるお子さんの困りごとと相談機関」の中で、「～就職・大学等～」の部分の就労支援とはどんなものかという記載に、障害者就労支援センターと入っている。現在、就労支援センターは職員不足ではあるが、先程お話があったように、保護者が将来の就職にどういうイメージを持たれているのか。協力できる場所があれば、就労支援センターとしてどういったサービスを提供しているか、或いは相談をどうやって受けているか等のお話はできるかと思っている。なので、お困りであれば、就労支援センターも就労といった部分で御相談いただいても大丈夫だと考えている。

○是非そういう意見をいただきたい。まず住民の方が何か相談したい時に、この一覧表を見ればどこかに掲載されていることが目的なので、就労のことが気になっている人が、就労の相談ができる場所として、対応していただけるのであれば、是非掲載したいと思う。また、この一覧表を送付するので、埋めていただき、返信いただければと思う。こういうふうにして充実したものにしていきたい。わずか2頁のものだが、かなりの情報量があって全体を見渡せ、それぞれの機関や事業所もお互いのことがよく分かって、紹介し合えらう取っ掛かりになるものに是非ともしていきたいので、よろしく願います。そういう意味では、子どもも大人も含んでいるので、ホームページの掲載場所も含めて改めて考えていきたい。

○私のところの法人では保育所を運営しているので、素晴らしい資料だと思うが、掲載というのはホームページだけになるのか。PDFファイル形式にいただければ、ダウンロードして、そういったことを心配している子どもの御家族に、印刷してマーカーを付けてお渡しで

できれば考えているので、PDFファイル形式は可能なのか。

■可能である。

○すでにPDFファイル形式になっているのか。

■現在はエクセルファイルだけだが、掲載する時にエクセルファイルとPDFファイルということはあるので、ダウンロードして印刷したものを、説明してお渡しすることは可能である。

●他に質問、意見等はあるか。色々な意見が出たが、今回の子ども支援部会の要望について、自立支援協議会から市に要望することに賛成の方は挙手をお願いしたい。

○委員全員挙手

●委員全員挙手のため、要望することとし、次の議題に移る。

(2) 暮らし安全部会の要望事項について

●暮らし安全部会より説明をお願いします。

(暮らし安全部会から説明)

○資料5を御覧いただきたい。先程も話をしたが、先日程行われた市民総合センターの総合震災訓練に対する要望である。11月5日に暮らし安全部会より2名参加しているが、その際の警報ランプについて、聴覚障害の方は耳が聞こえていないため、館内放送が入っても分からないので、警報ランプを点けて欲しいとお願いをしていたが、当日は警報ランプは点灯していなかった。そのため、聴覚障害の方には避難訓練が行われていたのかも分からず、避難誘導もなかったのではないかという話だった。館内放送も何度か流れて、地震が来たという設定でやっているので、「机の下に隠れてください。」等の放送は、3回位流れたと思う。耳の聞こえる人には分かるが、職員の方々が館内にいる人に対して、「あなたたちも一緒にやってください。」という声掛けもなかったため、職員は机の下に隠れる等しているが、私たちはどうしたらよいのかと、避難訓練でも疑問に思った。また、ヘルプバンドナを館内の1階にある障害者のデイサービスの方々に、当日ヘルプバンドナを付けて欲しいとお願いしていたが、当日忙しかったのか誰一人付けている利用者がいなかった。当日、ヘルプバンドナは部会の方を含めて、聴覚障害の方が3名程付けていた。だが、ヘルプバンドナを付けている人に対して、職員のこちらに対する避難指示というものは一切なかった。そういうための訓練のはずだが、ヘルプバンドナをしていても誘導もなく、館内にいるが声を掛けられることもない。なんだったのかという思いだ。また、私は資料5の一番下、9番目に記載があるが、消火器訓練やAEDの訓練に参加させてもらった。とても良かったが、やはりそこに参加しているのも館内の職員の方々だけだった。館内の職員がやっては駄目だという訳ではないが、館内の職員だけなのかと少し驚いた。私もこの避難訓練には、初めて参加したため、ルールが分からないが、普通余所で訓練に参加する場合は、

やはり声掛け、「一緒に行動してください。」、「こっちに避難してください。」という声掛けはあると思うが、そういうことがなかったので、今回は残念に思った。

●くらし安全部会から総合震災訓練に対して色々な課題があると意見が出たため、自立支援協議会を通して市に改善要望を出していく内容になるが、何か質問、意見等はあるか。

■総合震災訓練を主催する立場のものとして、今回御指摘いただいた点については、大変申し訳なかった。これについては、真摯に反省をして次回の訓練に活かさせていただきたいと思うので、これからも是非御参加いただき、お気づきの点を御指摘いただければと思う。今後も御協力の程よろしくお願ひしたい。

●この総合震災訓練について確認するが、市民総合センター内の色々な部署の職員が参加すると思うが、このタイミングで来庁されている方にも参加義務があるのか。それとも、参加義務はなくてできる方が参加するのか。現状ルールはどうなっているのか。

■先程議長からあったとおり、職員については参加義務になっている。たまたまその時間帯に来庁している方については、時間のない方もいらっしゃるので、できる範囲内の協力のお願ひになる。今回の聴覚障害の方が来庁されていて、実際対応が全くできていなかったということに関しては、こちらで猛省する点であるため、次の機会には改善をさせていただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

○訓練というのはこういう点を見つけるのが訓練の目的で、完璧にできていたら訓練は必要ないと思うので、こういうような気付きを發展させて次に活かしていけばよい。他にも色々意見を集約しているのか。

■そうである。

○始める時もこの辺りができるようにと、目標を立てながらやっていくことが非常に大事と思う。私のところも防災訓練はあるが、訓練のための訓練になっていることが非常に多いので、やはり実践的にやっていくようなものにしていけば、万が一の時に非常に役に立つと思うし色々なところで使えると思うので、そういうような考え方でやっていただければと思う。

○先程の方がおっしゃったとおり、訓練で色々なことに使うことはいいことだと思うが、もし可能であればここでできないかという提案であるが、私どもが所属している特別養護老人ホームは、東大和市と武蔵村山市の病院や老健等と一緒に11施設の防災協定を結んでいる。どこかで災害が起きたらそこに応援に行くというようなことで、子育て支援課や障害福祉課、社会福祉協議会の職員がいるとは思いますが、不特定多数の方が大量にいる所で、その職員だけで色々なことができるのか。何かあれば応援に駆け付けるような体制作りがあつていいのではないか。サンシャインホームも武蔵村山苑も建物自体は耐震強度が頑丈でそこで被災することはないと思うので、応援を出そうと思えば出せると思う。避難誘導だけでもいいから、何かそういう協力体制を作

	<p>っていければと思う。健常者の方もいらっしゃるが、障害をお持ちの方やお身体が不自由な方、聴覚障害の方、視覚障害の方、歩くことが困難な方もいらっしゃるの、そういう体制を組んで訓練をしてみるということもよいのではないかと思う。</p> <p>■ただ今いただいた御意見は、今まで市で行っている震災訓練では想定されていないため、今後色々検討させていただき、お願いできる施設があれば前に進めていきたいと思うので、今後ともよろしく願います。</p> <p>●他に質問、意見等はあるか。総合震災訓練について、自立支援協議会から市に改善要望をすることに賛成の方は挙手をお願いしたい。</p> <p>○委員全員挙手</p> <p>●委員全員挙手のため、要望することとし、次の議題に移る。</p> <p>(3) その他</p> <p>●議題として委員より提案等はあるか。</p> <p>○特になし</p> <p>●事務局より何かあるか。</p> <p>■次回は令和4年2月16日(水)午後1時30分から市民総合センター3階集会室で開催予定であるが、新型コロナウイルスの感染状況等によって変更する場合もあるため、御了承いただきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上。</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： 1 人 <input type="checkbox"/>一部公開 <input type="checkbox"/>非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()</p>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p>■開示 <input type="checkbox"/>一部開示(根拠法令等：) <input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等：)</p>
---------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部</p>	<p>障害福祉課</p>	<p>(内線：642)</p>
--------------	--------------	--------------	-----------------

(日本産業規格A列4番)